



SUZUKI・Y 250 改・Yajima special

遥かなる青空の彼方に

日本一周 Vol.05

1978年8月11日~1982年8月17日

遥かなる青空の彼方に 其の伍

<http://p.booklog.jp/book/35516>

著者 : lauriercb4004in1

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/lauriercb4004in1/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/35516>

ブックログのpapier本棚へ入れる

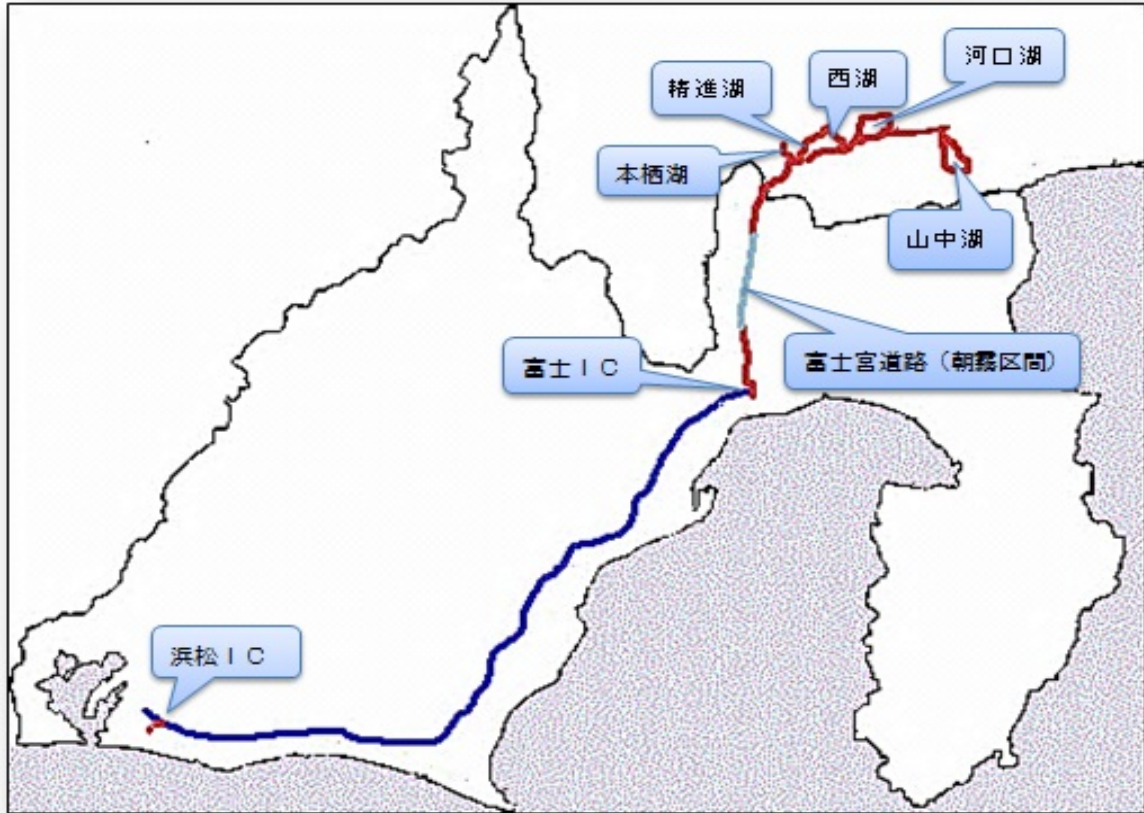
<http://booklog.jp/puboo/book/35516>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.

本栖湖 編 (1979年 10月20日)

全走行経路



全走行距離 319.9km・燃費 不明

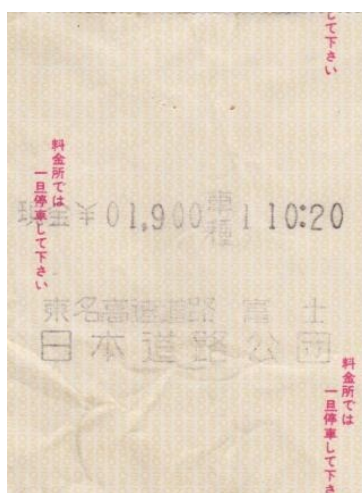
1979年10月20日(日) 晴れ

昨日は、台風で大荒れ。

天気が回復して風は、まだ強いがツーリング日和になってしまったので本栖湖まで行く事にした。(台風の爪痕が酷いかも・・・)

AM10:00、日帰りツーリングへ出発。

浜松 I・C から東名高速道路を走り、富士 I・C で降りて国道139を走る。



(高速道路の領収書)

東名高速道路を走りながら、澄んだ青空の中に浮かぶ美しい富士山を見る。(いいですね！)

国道139は、台風で飛ばされた街路木は倒れ川の水は溢れて道路はズタズタ！

信号で停まった時に、横を流れている川に目をやると太い木々が沢山ある、台風で上流から流されて水位が少なくて、ここに留まったのだろう。

国道139の渋滞が解消しないまま富士宮道路・朝霧区間(¥150)に入って朝霧高原を走り本栖湖を目指す。



(有料道路の領収書)

富士宮道路・朝霧区間に入るとツーリングをしているオートバイのグループが多い、急にピース・サインを出すのに忙しくなる。

天気も良いし、富士山が段々と大きく見える様になってオートバイが沢山走っているから、ついついスピードを出してしまう。

反対車線で警察がネズミ獲りの準備をしていた、危ない・危ない！用心をしてスピードを落とす。

途中で休憩をしたりして本栖湖に着いたのはAM 11:30頃ここ本栖湖には、そんなに観光客はいなかった。

湖畔の駐車場にオートバイを置いて、水辺まで歩いて周りを見ると、ここも台風の爪痕が酷い。

昼飯は湖畔の売店でホット・ドックを買って食べる。

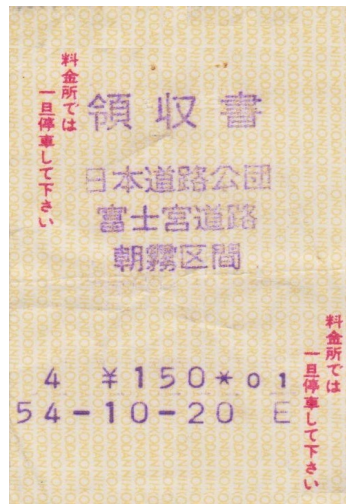
観光客が少ないので、売店のおばちゃんも時間を持て余している様だ。

おばちゃんから話し掛けきて『何処から来たの？オートバイいいね！私が若かったら後ろに乗せて欲しいね！』と・・・。

おばちゃんと話をして時間をつぶし、帰りの渋滞を考えて予定より早めに本栖湖をあとにする。

来た道に戻り、国道139に出るなり渋滞が続く、残りの四湖（精進湖、西湖、河口湖、山中湖）を駆け足で周る、河口湖は人気が高い様で他の湖より人で混雑し自動車の渋滞も凄い。

山中湖まで行き、来た道に戻って富士宮道路・朝霧区間（¥150）を通り朝霧高原で行きの時にネズミ捕りの準備をしていた所では数台のオートバイが捕まっていた。



(有料道路の領収書)

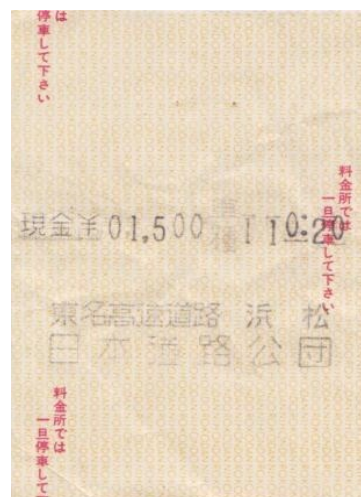
国道139から富士I・Cまで1時間以上の渋滞が続いて、富士I・Cから初めての休憩を牧の原サービス・エリアでする。

東名高速道路でも途中、何回か渋滞があったけど富士I・Cまでの渋滞に比べたら何でもない。

オートバイは、東名高速道路の掛川付近で20,000kmになり暗くなる前には浜松に着きたい、東名高速道路の天竜川の橋に掛かる頃には太陽が西に傾いて沈み掛かっている。

PM5:40、[浜松I・C](#)到着。

高速料金やガソリンの値段が上がって、お金が掛かる様になってきた。



(高速道路の領収書)

全走行距離 319.9km・燃費 不明

高校の友人の一人を失ってしまった

前の日に、冗談を言って笑いながら
“ジャァ またなあ” と別れた。

8月4日

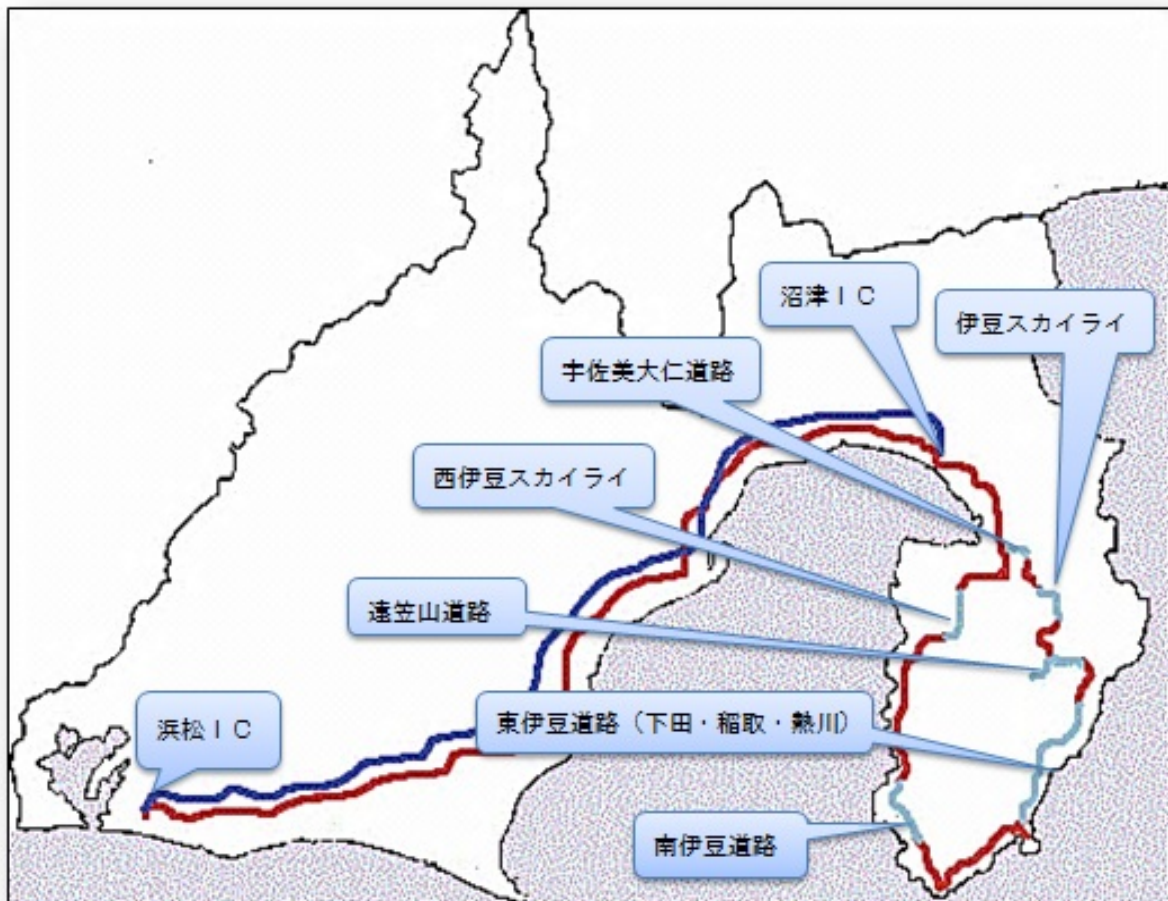
K・Y 19歳

早朝、自動車事故で死亡

夏のツーリングは中止

伊豆半島 編 (1980年 5月1日~2日)

全走行経路



全走行距離 387km・燃費 不明

伊豆半島 編 (1980年5月1日)

1980年 5月1日 (木) 晴れ

昨夜は、雨で一夜明ければ快晴。

AM6:00、出発。

浜松 I・C から東名高速道路を走り沼津 I・C で降りる国道1から国道136 (下田街道) で修善寺に向かい、国道136で西伊豆スカイライン (¥150) に入り土肥温泉を目指す。



(有料道路の領収書)

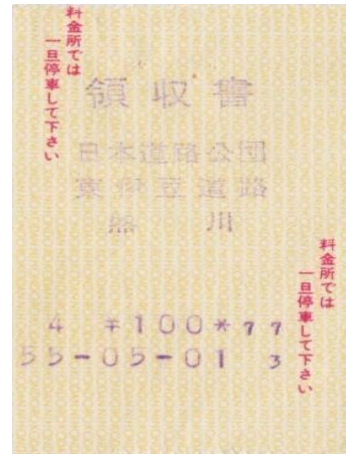
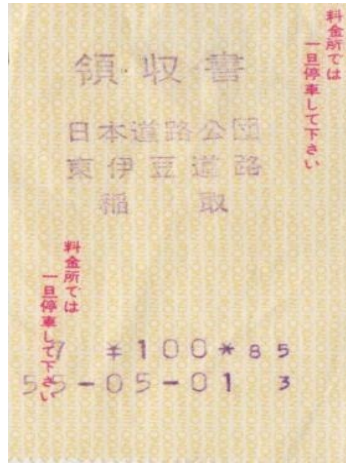
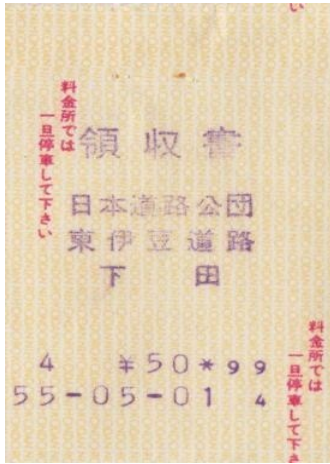
国道136から南伊豆半島道路 (マーレット・ライン ¥200) を通り海岸線や山の中を走り変化の多い国道136を走り石廊崎を目指す、伊豆半島は海があり山があり景色が良くて道路が良い所だあ！



(有料道路の領収書)

伊豆半島の先端、石廊崎には灯台があって太平洋が一望できる。

太平洋が太陽の日差しで輝いている、石廊崎から国道135で東伊豆道路に入り下田 (¥50) ・稲取 (¥100) ・熱川 (¥100) を走る。

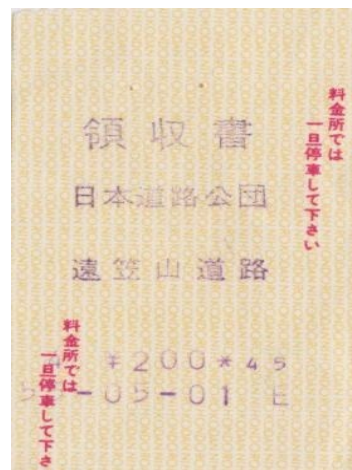
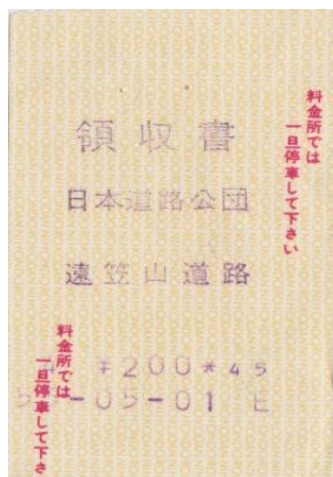
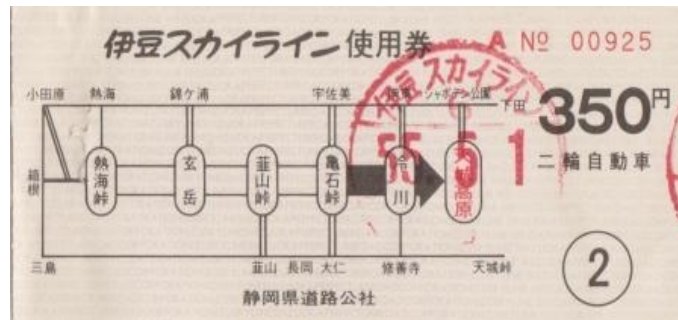


(有料道路の領収書)

伊豆半島は、有料道路が多い所だあ！有料道路はコーナーの連続で景色が素晴らしい。所どころ片側通行の道路もあるが自動車が少ないので走りやすい、脇見運転をしているとガードレールと仲良くなってしまうそうだあ。

休憩でオートバイを止めエンジンを止めれば、ウグイスの鳴き声が聞こえてくる、ここにいると時間の立つのを忘れてしまう。

熱川からは国道135で伊豆スカイライン（¥350）を通り、国道135で遠笠山道路（¥200）を走り宇佐美大仁有料道路（¥30）を通過して長岡町に向かう。



(有料道路の領収書)

PM3:00に長岡町の旅館に到着、旅館の夕食は豪華！¥8,000のだけはある。
今日は、伊豆半島の有料道路を全部制覇！

全走行距離 387 km・燃費 21 km/ℓ

5月2日(金) 晴れ

旅館の朝食は、いいですね！(卵、焼き魚、海苔、お味噌汁、漬物、ご飯)

旅館をあとにして、長岡町から県道131を通過して国道414で沼津市に向かうが沼津市に入るなり渋滞になる。

沼津市からは、国道1を静岡市まで走り、走りなれた国道150を通過して浜松に帰って来た。

今回のツーリングで、中部地方をだいたい周り終わった。

まだまだ日本一周まで先が長い！日本は広い！

全走行距離 200 km・燃費 不明